

2023年度 秋学期

メディア・コミュニケーション研究所 公開講座

ジャニー喜多川性加害問題から考える メディア文化とジェンダー

ジャニーズ事務所の元社長ジャニー喜多川氏によって行われた性加害報道を題材に、日本のメディア企業やエンターテインメント産業に見られる以下の3つの問題について考察しながら、メディア文化とジェンダーについて批判的に考察する。焦点を当てるのは、次の4つの点である。①日本のメディア企業による性暴力や人権への意識の低さ、②メディア企業のインフォテインメント化と広告によって抑え込まれてしまった報道、③タレントを応援する「推し活」の抱える闇とそれをもてはやしてきたメディア文化、これら3つの観点について検討した上で、これらの課題を超えていくための方法について考えていくことにする。



講師

田中 東子 氏 (東京大学大学院情報学環教授)



日時

2023年 12月 19日 (火) 16:30 ~ 18:00

(開場 16:15)



会場

慶應義塾大学日吉キャンパス 第4校舎B棟J24 番教室

入場無料・事前申込不要

プロフィール

田中 東子 (たなか とうこ)

1972年横浜市生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科後期博士課程単位取得退学後、博士(政治学)。専門分野はメディア文化論、ジェンダー研究、カルチュラル・スタディーズ。早稲田大学教育学部助手および助教、十文字学園女子大学准教授、大妻女子大学文学部教授を経て、現職。第三波以降のフェミニズムやポピュラー・フェミニズムの観点から、メディア文化における女性たちの実践について調査と研究を進めている。

『メディア文化とジェンダーの政治学—第三波フェミニズムの視点から』(世界思想社、2012年)、『出来事から学ぶカルチュラル・スタディーズ』(共編著、ナカニシヤ出版、2017年)、『私たちの「戦う姫、働く少女」』(共著、堀之内出版、2019年)、『ガールズ・メディア・スタディーズ』(編著、北樹出版、2021年)、翻訳に『ユニオンジャックに黒はない—人種と国民をめぐる文化政治』(ポール・ギルロイ著、共訳、月曜社、2017年)、『フェミニズムとレジリエンスの政治—ジェンダー、メディア、そして福祉の終焉』(アンジェラ・マクロビー著、共訳、青土社、2022年)など。



主催



慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
www.mediacom.keio.ac.jp

